



The Heart of Industry

**IWAKI**

2019年3月期 決算説明資料

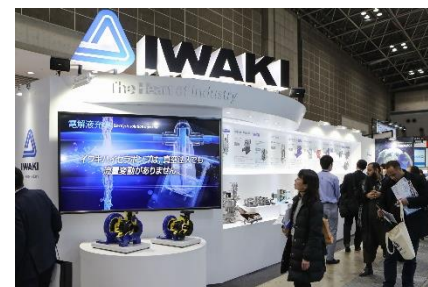
2019年5月27日

株式会社イワキ

証券コード：6237  
銘柄名：イワキポンプ

# 目次

<b>I. 2019年3月期 決算概要</b>	<b>・・・P 3</b>
<b>II. 2020年3月期 業績見通し</b>	<b>・・・P13</b>
<b>III. 育成期 中期経営計画について</b>	<b>・・・P21</b>
<b>IV. 参考情報</b>	<b>・・・P28</b>



## ※本資料の略称

- I A : IWAKI America Inc. (米国子会社)
- I E : IWAKI Europe GmbH (欧州子会社)
- I J : 株式会社イワキ (日本)



# 2019年3月期 決算概要

# 1 2019年3月期 決算サマリー

(百万円)

	2018/3期	2019/3期		2019/3期 予算
		金額	前年比	
売上高	28,067	29,171	+3.9%	29,084
売上総利益	9,409	10,374	+10.3%	10,235
(粗利率)	(33.5%)	(35.6%)	(+2.0pt)	(35.2%)
営業利益	2,106	2,337	+11.0%	2,257
(営業利益率)	(7.5%)	(8.0%)	(+0.5pt)	(7.8%)
経常利益	2,733	2,847	+4.2%	2,797
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,059	2,163	+5.1%	2,018
1株当たり 当期純利益(円)	※91.72	96.25	+4.9%	89.80
為替レート	ドル	112.17	110.45	111.00
(期中平均)	ユーロ	126.70	130.35	128.00

※ 3分割を考慮した金額です。

2019年2月13日公表

### 1 売上高は前年比プラス

- ✓米国は、水処理市場の堅調な伸びと化学市場の需要拡大で1割強増加
- ✓中国は、医療機器市場の需要増等で前年比で2割強増加
- ✓半導体・液晶市場への設備投資が期の半ばから急減速し、アジア地域は前年比で1割強減少

### 2 営業利益は前年比1割強増加

- ✓売上増による増収効果
- ✓利益率が良い主力製品のマグネットポンプ、医療機器市場向けの回転容積ポンプが順調な伸び

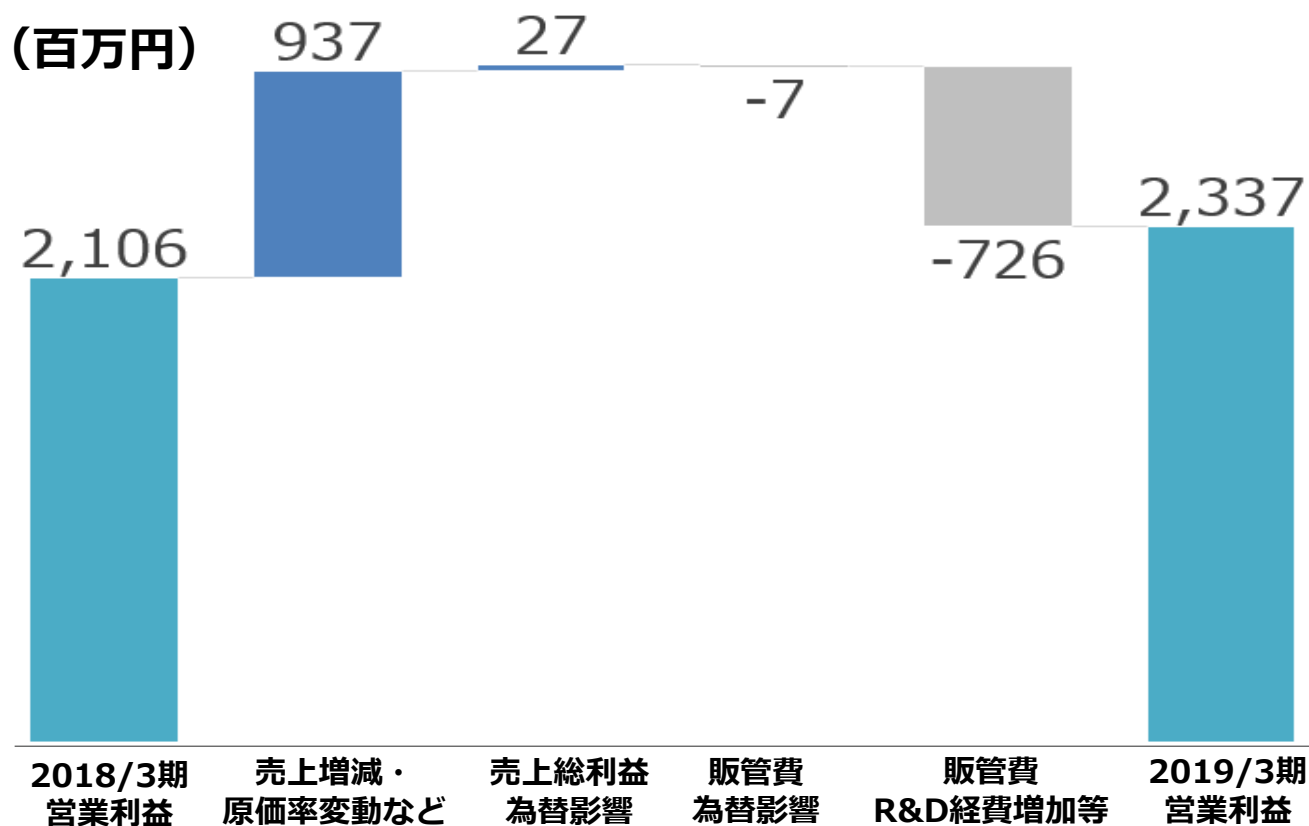
### 3 経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともにプラス

- ✓前年の特殊要因が消え個別要因（為替差損、事業所移転費用）が発生するも経常利益、最終利益ともに増益

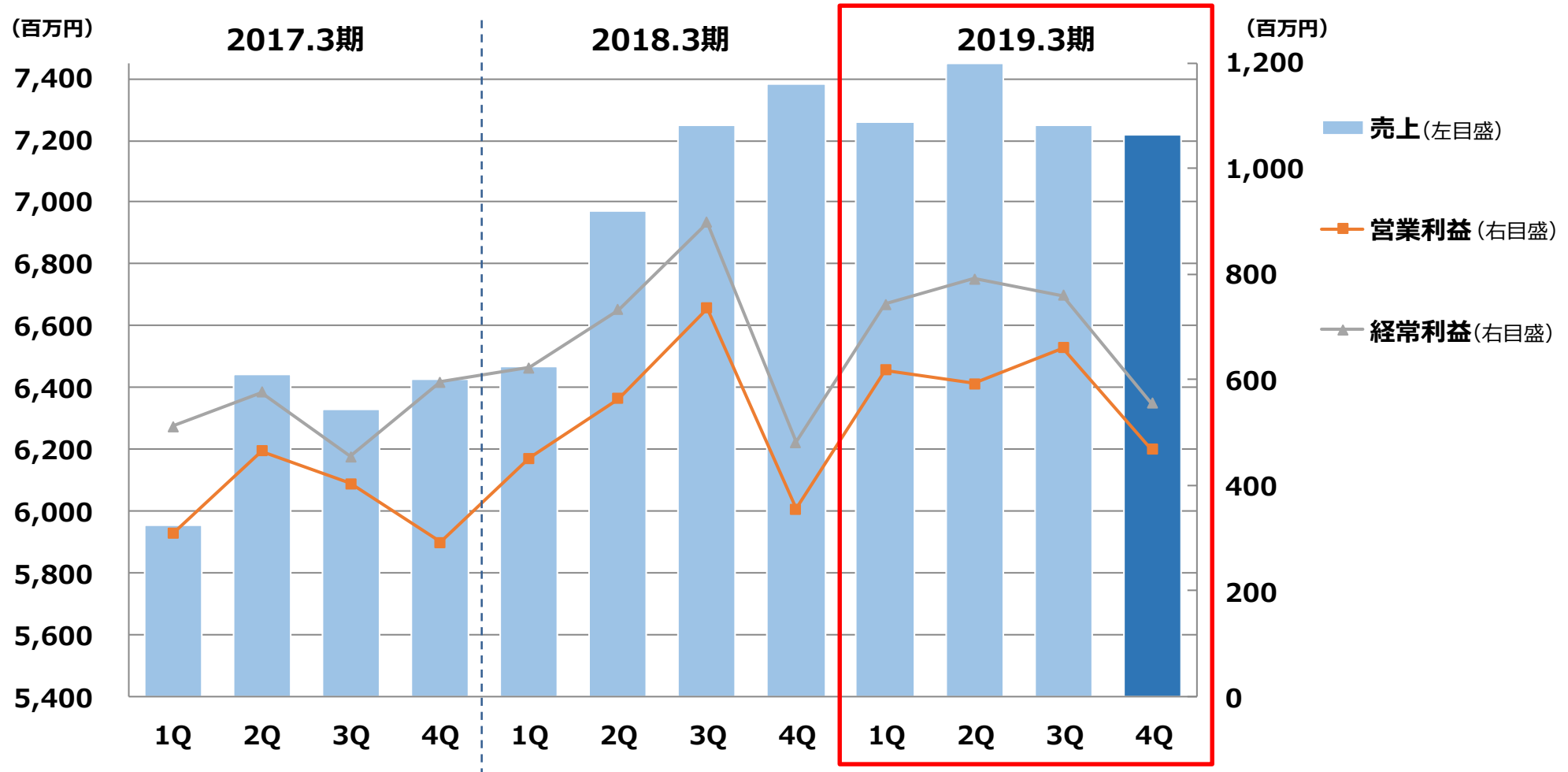
# 3 2019年3月期 増減益分析

(単位：千円)

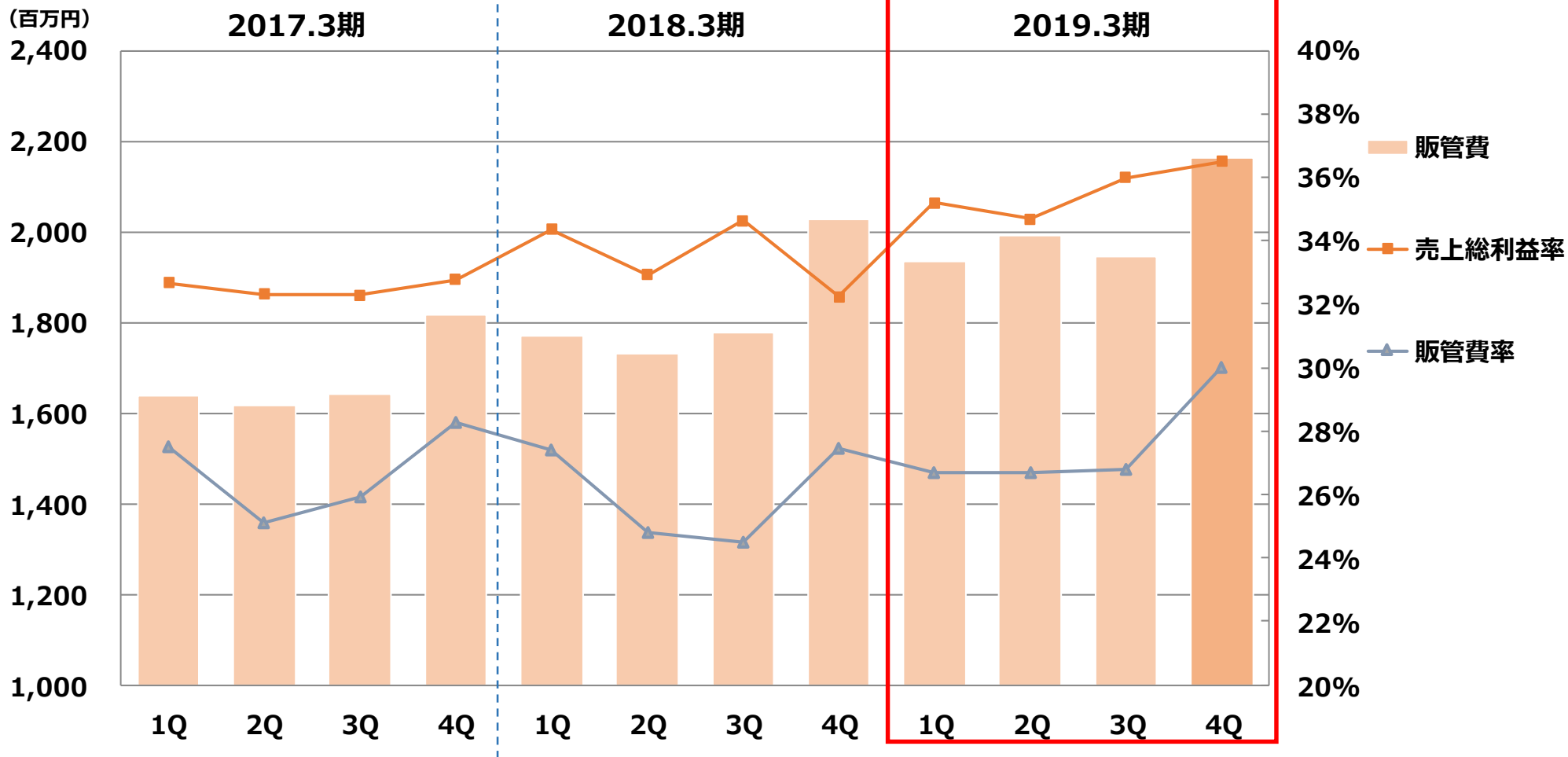
為替1円当たりの感応度	\$ (USドル)	€ (ユーロ)
売上	45,727	18,505
営業利益	13,343	10,118



半導体・液晶市場は後半急減速するも、医療機器、化学が牽引し売上、段階利益共に堅調な伸び。

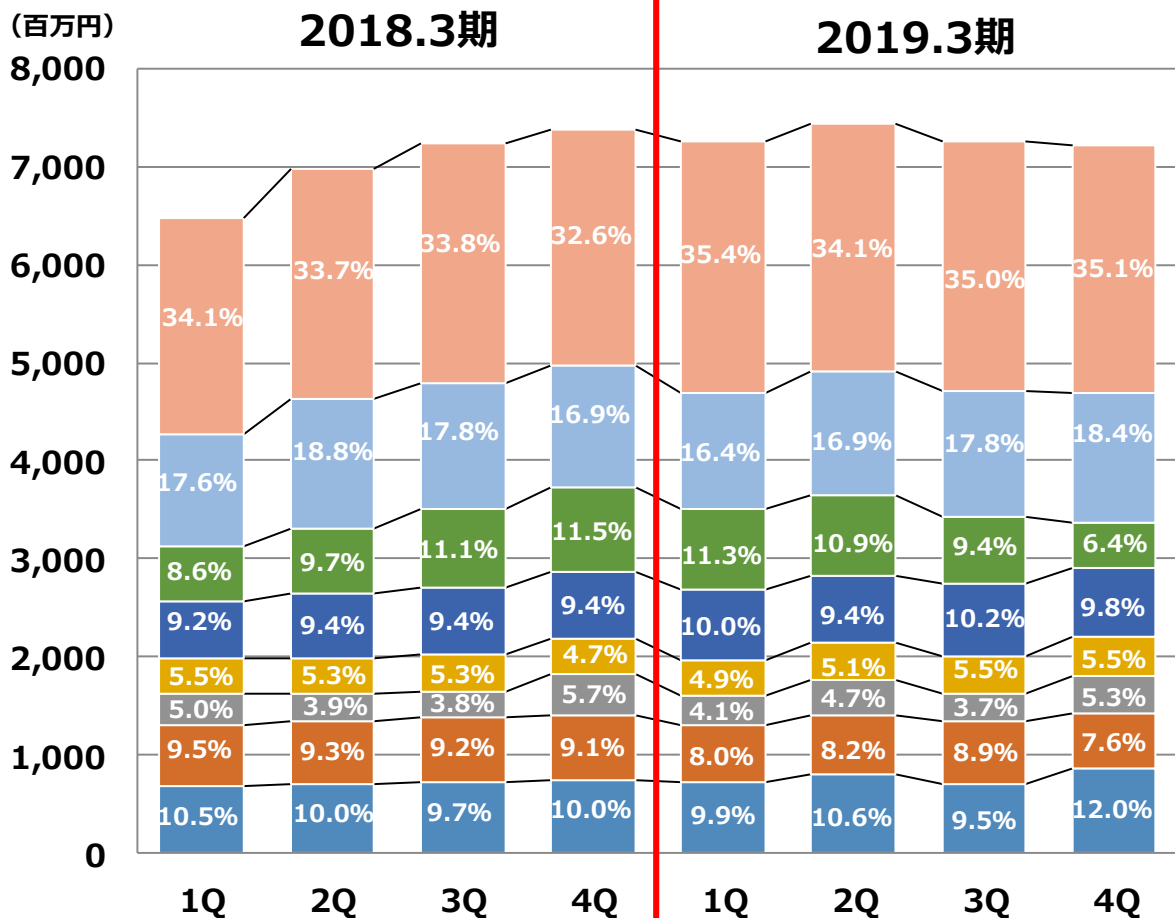


4Qの人件費増加するも、通期では増収効果等により粗利率改善。



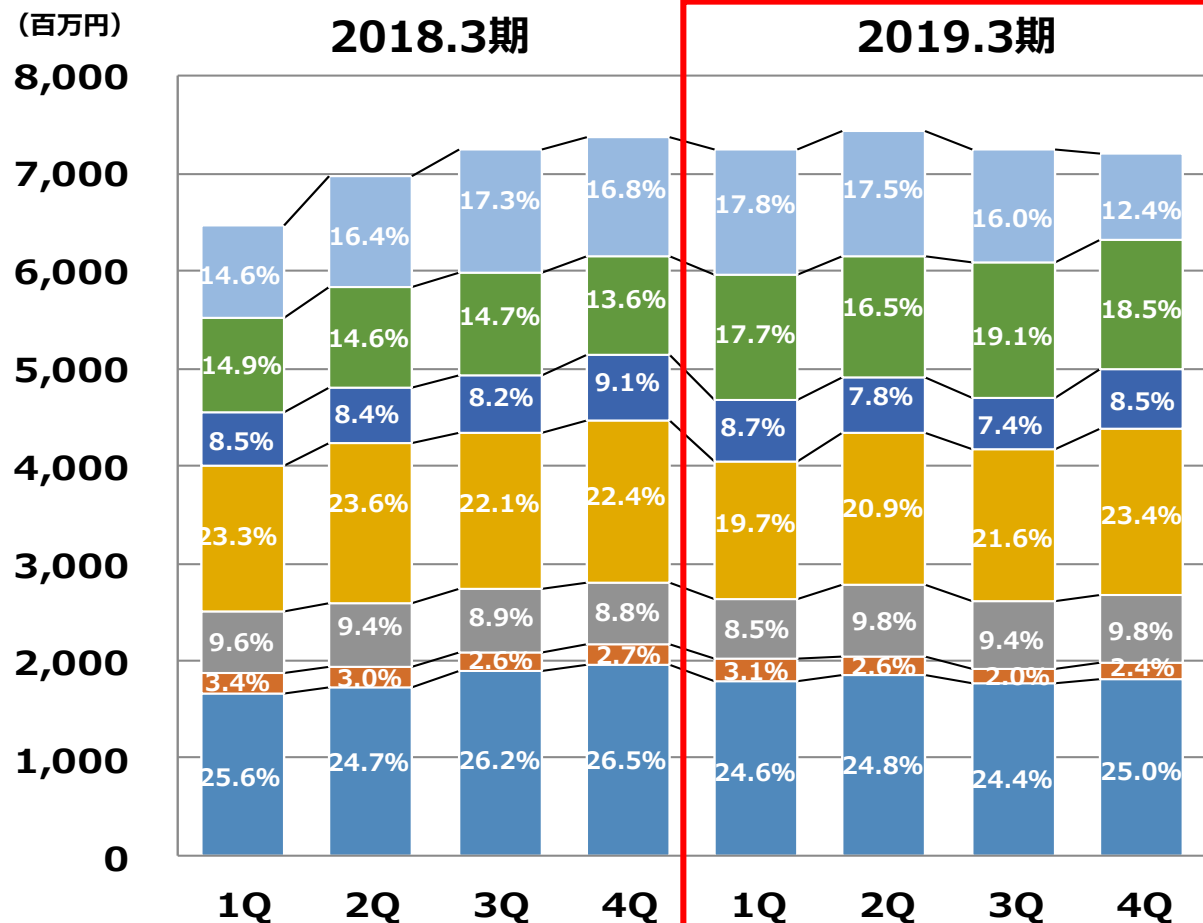


## マグネットポンプ、回転容積ポンプの順調な伸び、定量ポンプも堅調。



	2019.3期合計金額 (百万円)	変化率 (前年比)
■ マグネットポンプ	<b>10,177</b>	<b>+8.2%</b>
■ 定量ポンプ	<b>5,066</b>	<b>+1.5%</b>
■ 空気駆動ポンプ	<b>2,775</b>	<b>▲3.8%</b>
■ 回転容積ポンプ	<b>2,868</b>	<b>+9.4%</b>
■ エアーポンプ	<b>1,528</b>	<b>+4.8%</b>
■ システム製品	<b>1,306</b>	<b>+1.5%</b>
■ 仕入商品	<b>2,383</b>	<b>▲8.3%</b>
■ その他	<b>3,064</b>	<b>+8.8%</b>

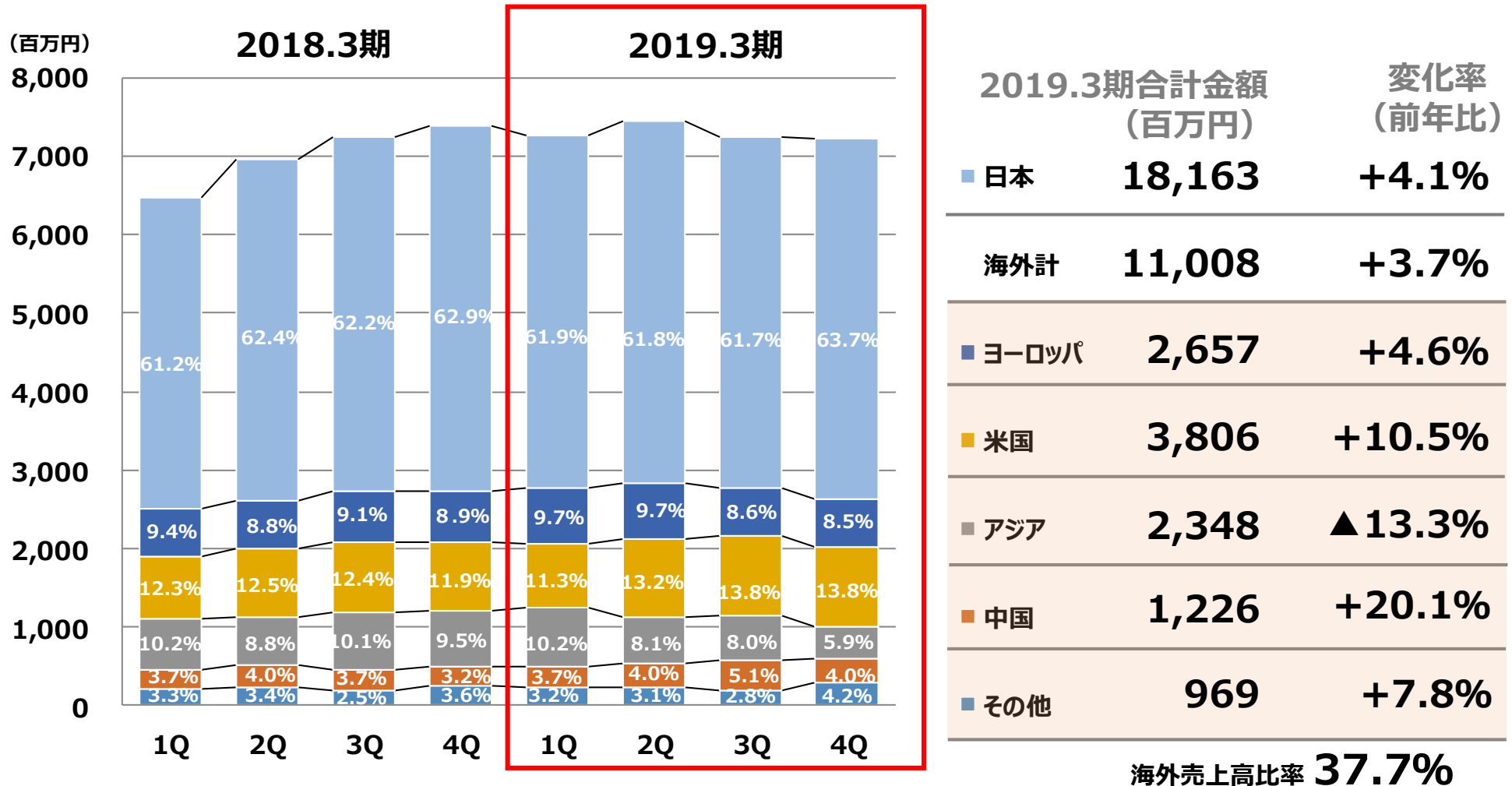
医療機器が大幅増、化学も順調。

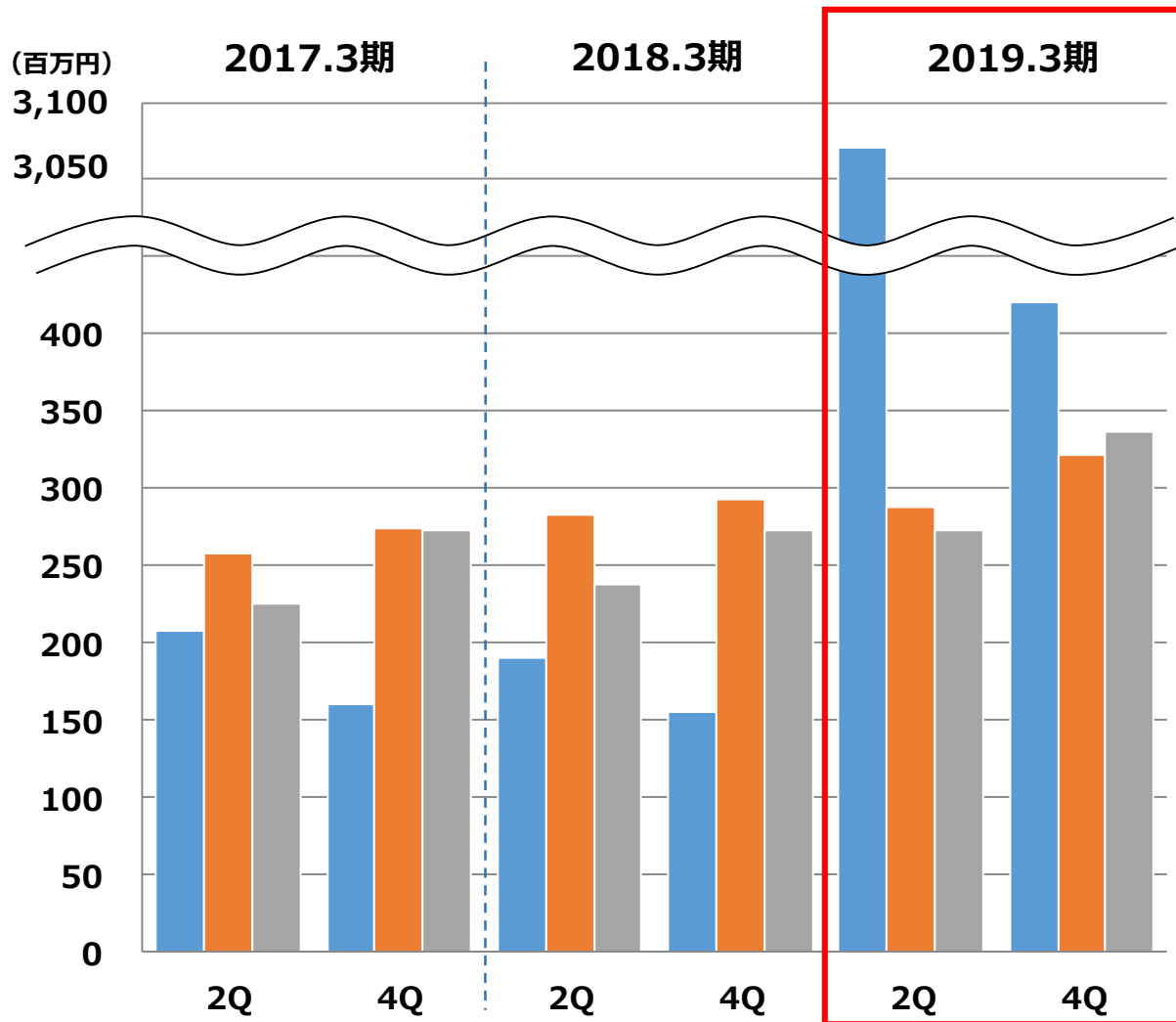


2019.3期合計金額 (百万円)      変化率 (前年比)

■ 半導体・液晶	4,651	+1.5%
■ 医療機器	5,232	+29.2%
■ 表面処理装置	2,365	▲1.5%
■ 水処理	6,242	▲2.7%
■ 化学	2,738	+6.5%
■ 新エネルギー	734	▲9.9%
■ その他	7,205	▲0.4%

米は好調、国内、欧も順調。中国は前期に引き続き好調。





2019.3期合計金額  
(百万円)

増減額  
(前年比)

■ 設備投資 ※ **3,490** **+3,144**

■ 研究開発費 **608** **+33**

■ 減価償却費 **609** **+99**

※ (新) 技術センター分  
28億62百万円を計上



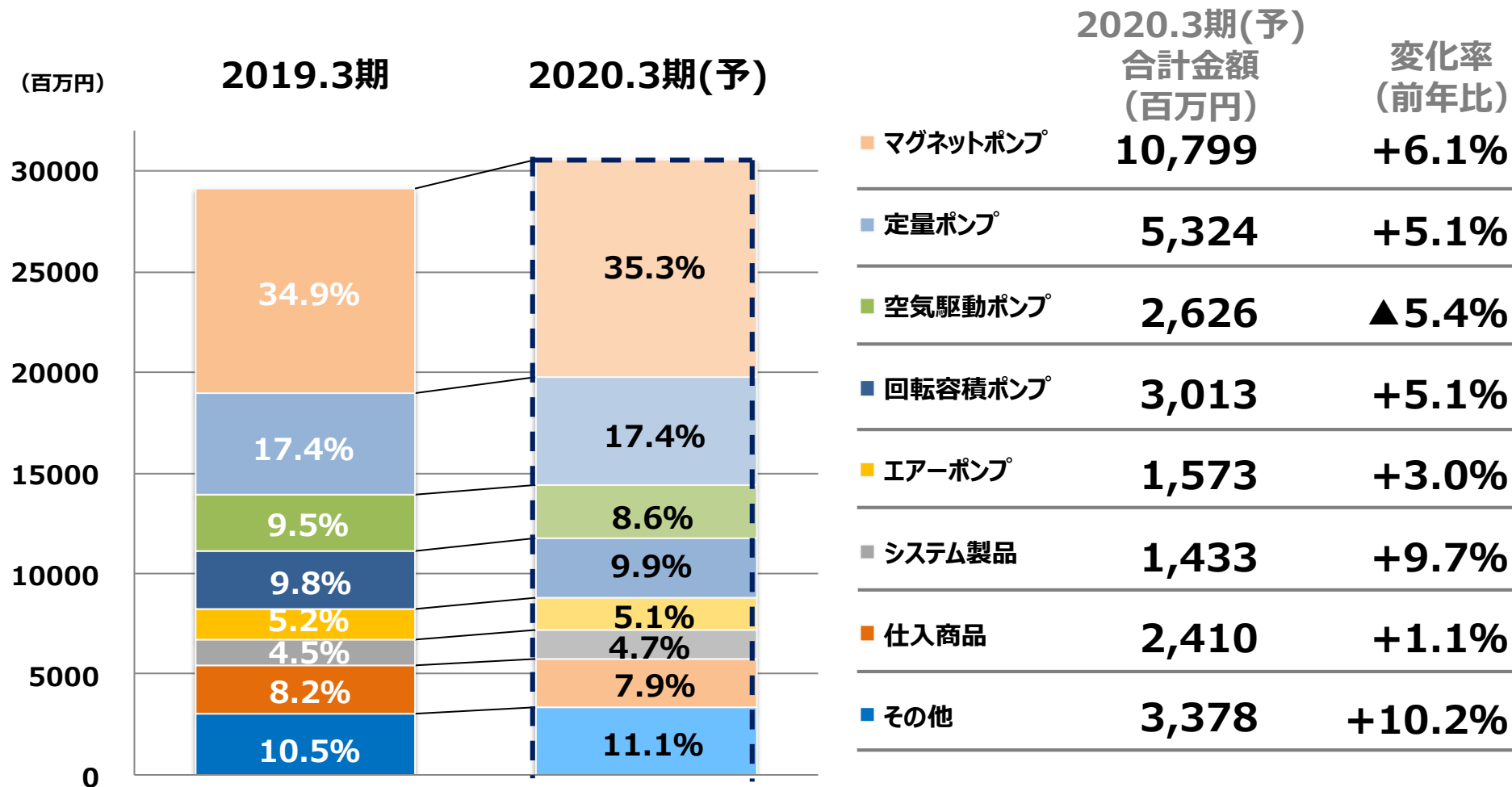
# 2020年3月期 業績見通し

## 水処理市場、化学市場向け好調の見込み

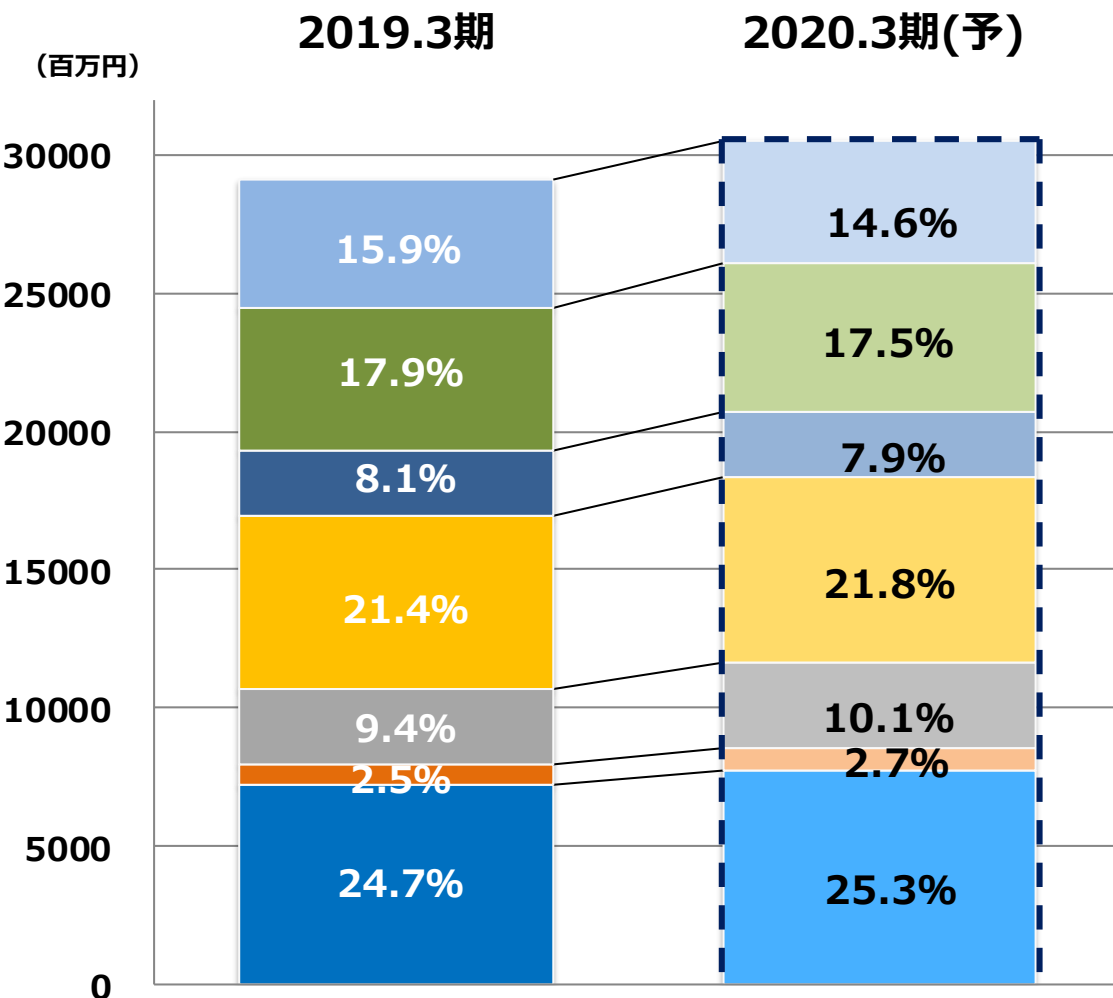
(百万円)

	2019/3期	2020/3期 (予想)		
			前年比	
売上高	29,171	30,561	+4.8%	
営業利益	2,337	2,384	+2.0%	
(営業利益率)	(8.0%)	(7.8%)	(▲0.2pt)	
経常利益	2,847	2,869	+0.8%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,163	2,243	+3.7%	
1株当たり 当期純利益 (円)	96.25	101.06	+5.0%	
為替レート (期中平均)		ドル	110.45	110.00
		ユーロ	130.35	126.00

## 2 品目別売上高



# 3 市場別売上高



	2020.3期(予) 合計金額 (百万円)	変化率 (前年比)
■ 半導体・液晶	<b>4,462</b>	<b>▲4.1%</b>
■ 医療機器	<b>5,360</b>	<b>+2.4%</b>
■ 表面処理装置	<b>2,405</b>	<b>+1.7%</b>
■ 水処理	<b>6,677</b>	<b>+7.0%</b>
■ 化学	<b>3,097</b>	<b>+13.1%</b>
■ 新エネルギー	<b>818</b>	<b>+11.4%</b>
■ その他	<b>7,738</b>	<b>+7.4%</b>



## 4 2020年3月期 業績予想のポイント

### 1 売上高は前年比プラス予想

- ✓国内及び中国の医療機器市場の需要増の予想
- ✓国内のホテル建設ラッシュ、米国のボイラー、クーリングタワー向け及びコントローラ需要増で水処理市場が順調な見込み
- ✓各種プラントや二次電池の部材関連など化学市場の好調な伸びを予想

### 2 材料費値上げによる原価増を増収効果で吸収し、営業利益は前年比プラス予想

- ✓材料費の値上げによる原価増を増収効果で吸収し、増益
- ✓利益率が良い主力製品のマグネットポンプと医療機器市場向けの回転容積ポンプの順調な伸びを予想

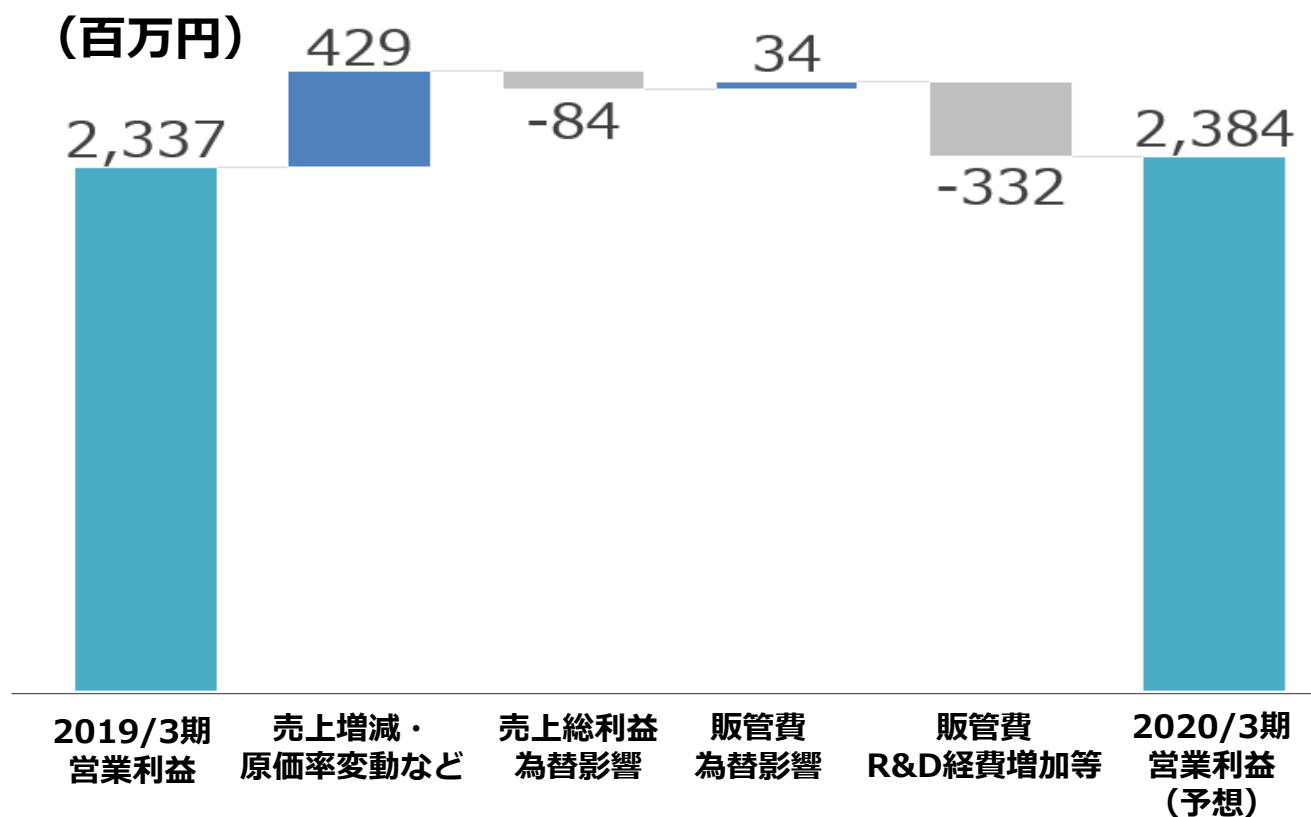
### 3 各段階利益は前年比増益

- ✓アジアの関係会社は利益減の見込みだが、増収が効き経常利益は増益
- ✓投資有価証券の売却による特益（1.5億強）の発生も寄与し、最終利益は、順調な伸び見込み
- ✓自己株買い等により1株当たりの株主価値は1.3pt上昇

# 5 2020年3月期予想 増減益分析

(単位：千円)

為替1円当たりの感応度	\$ (USドル)	€ (ユーロ)
売上	50,751	20,464
営業利益	15,363	10,681



## 【市場環境の想定】

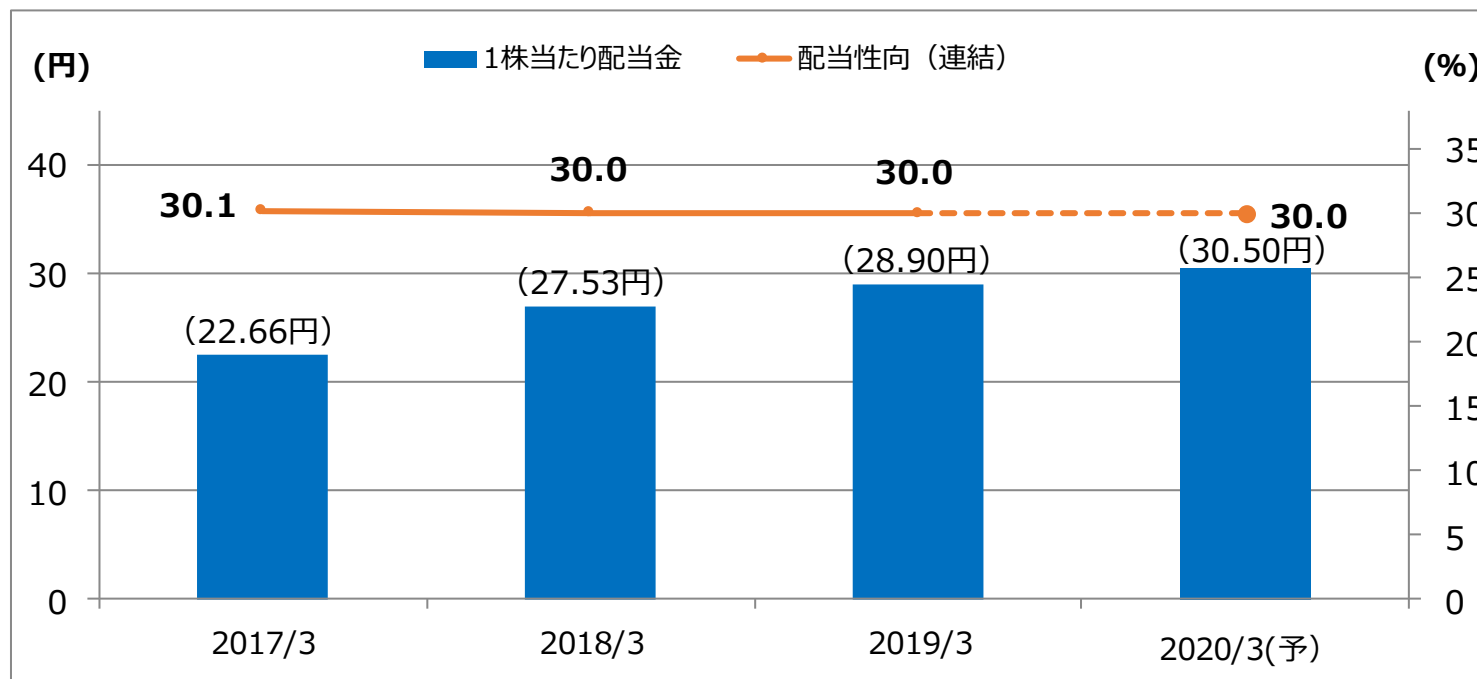
各市場	国内	海外
<b>水処理市場</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食の安全面からイオン水製造、水耕、土耕装置が堅調</li> <li>・温浴施設が堅調</li> <li>・水処理プラントは官民共に横ばい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新興国とバラスト水の水質管理が堅調</li> </ul>
半導体・液晶市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアでの設備投資減少の影響を受け、製造装置メーカー向けが低調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備投資は減少傾向が継続するものの後半から回復の兆し</li> </ul>
<b>医療機器市場</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工透析装置、臨床検査装置、内視鏡洗浄装置向けが堅調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国向け生化学・免疫分析装置が堅調</li> </ul>
<b>新エネルギー市場</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次電池市場が堅調</li> <li>・家庭用燃料電池が横ばいで推移</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国・韓国の二次電池の設備投資が旺盛</li> </ul>
化学市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高付加価値製品の開発、製薬会社の投資需要継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リチウムイオン電池関連部材が堅調</li> </ul>
表面処理装置市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車載・IoT市場向けなど高付加価値電子部品の需要拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車載・通信用途で需要継続</li> </ul>

※ 各市場の太字は当社強化市場

※ オレンジ色はネガティブな見通し

## <基本方針>

- ・配当性向30%超
- ・継続的な配当



(注) 前二期は株式の3分割を考慮し、算定しています。(小数点第三位以下は切捨)  
19年3月期は株主総会決議前の数字です。



# III 育成期 中期経営計画について

# 1 10年ビジョンの概要

2016/3期

17/3期

18/3期

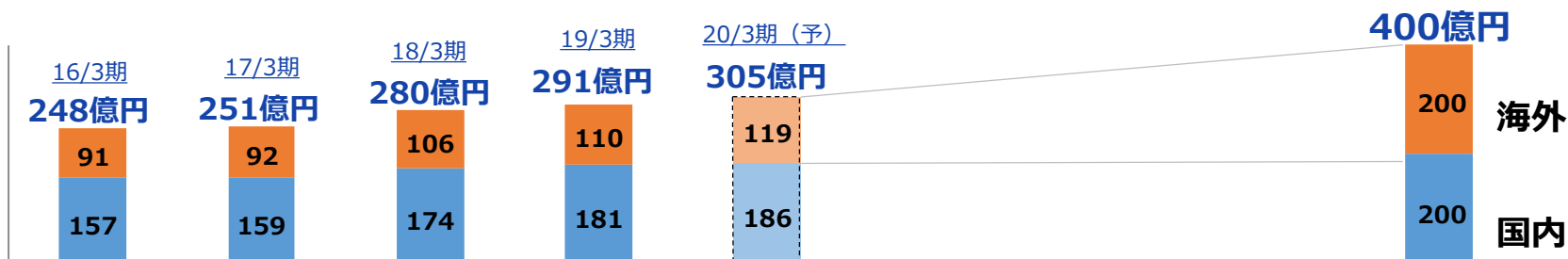
19/3期

2020/3期～2022/3期  
育成期中期経営計画期間

2025/3期

## 連結売上高

定量目標



6.1% — 5.8% — 7.5% — 8.0% — 7.8% — 営業利益率 — 10.0%

※オレンジ色は予想

定性目標

## オールイワキで世界No.1を提供する

～ グループ一丸となり、世界No.1の製品、品質、価値、サービスを提供する ～

## 目標を達成するための姿勢「チェンジ&チャレンジ」

～ 変革と挑戦に躊躇しない企業文化の定着を目指す ～

今中期経営計画は、10年ビジョン達成に向けた育成期

## 収益基盤の再構築・整備～継続運用・改良

- 10年ビジョン定量目標を達成するための基盤構築・整備～継続運用・改良
- 10年ビジョン定性目標に向けてのベクトルの統一化と、「チェンジ&チャレンジ」の企業風土の推進
- 持続的な企業価値向上に視点を置いた経営の推進→資本効率の向上

- 10年ビジョン達成に向けたステップ



### 3 育成期 中期経営計画の主な進捗状況

		具体的計画の主な進捗状況	達成状況	今後の課題
国内営業	競合のSWOT分析を関連部門で共有化し、リプレイス		○	継続強化
	ソリューションビジネスの定着化のため、システム販売推進 メンテナンスとの協業に依り差別化推進		○	継続強化
	市場要求（納期）対応のため、短納期施策を実施		○	対応機種拡大
海外強化市場 （新規事業） 並びに	米国	水処理市場（飲料水・食品業界）の深耕 アクアティック事業※1の深耕及び、欧へのアプローチ	○	コントローラ販売チャネル強化 （欧・アジア・新興国市場）
	欧州	化学・化工機プラント市場の攻略	▲	全欧州にIEの販売戦略の浸透 水処理市場の競合対策
	アセアン	アセアン共通モデルの投入、統括本部設置と 域内物流コントロール拠点の構築～整備	×	販売地域の整備、販売体制の確立 強化市場を継続推進
	中国	医療機器市場を開拓	△	新エネルギー・水処理市場の販促強化
投資	IE生産設備、ERP※2導入の投資実施、中国生産委託会 社の開拓及び部材調達を拡大		△	IEの設備投資を継続。中国での 委託会社開拓と部材調達拡大を継続
	業務提携、ポンプ周辺事業のM&Aを推進		▲	継続して検討中

※1：小型魚類飼育水槽システム

※2：総合基幹業務管理システム

達成率 ○：70%以上 △：70%未満～50%以上

▲：50%未満～20%以上 ×：20%未満



# 種蒔期～育成期 中期経営計画(2019/3期～2021/3期) (当初計画値との差異、変更点)

(百万円)

	2019/3期	2020/3期(予算)			2021/3期(計画)		
	実績	※当初計画値		前年比	※当初計画値		前年比
売上高	29,171	31,428	30,561	+4.8%	33,016		
売上総利益	10,374	11,236	10,719	+3.3%	11,893		
営業利益	2,337	2,936	2,384	+2.0%	3,384		
経常利益	2,847	3,518	2,869	+0.8%	3,967		
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,163	2,599	2,243	+3.7%	2,896		

精査見直し予定

※当初計画値：2018年11月12日公表

1

今期は、前期半ばからの半導体・液晶市場の急減速が影響し、当初計画比売上高は減少。前期比+4.8%成長の見込み。来期以降は国内は堅調、米は好調、欧は順調な成長を見込む。

2

今期は、当初計画比売上減に加え、材料費高騰の影響で粗利は当初計画比減。その影響で営業利益以下の段階利益も当初計画比減。

3

今期は、アジア関係会社等からの持分法による投資利益も落込む見込み、加えて投資有価証券の売却により受取利息も減少し、経常利益は当初計画比減。

## 基本方針 1

### 強化市場への経営資源の優先投入

- ・ 水処理市場 → テクノエコー効果・活用
- ・ 医療機器市場 → 海外新規OEM・新製品
- ・ 新エネルギー市場 → 二次電池製造・大型蓄電池設備

## 基本方針 4

### 海外戦略地域の統括運営

- ・ アセアン地域プロジェクト → 継続推進
- ・ 欧州地域 → 管理面充実の為、設備投資
- ・ ITインフラ整備 → 重点拠点でERP導入

# 10年ビジョン達成

## 基本方針 2

### 課題解決型ビジネスの展開

- ・ 顧客対応力の強化 → 短納期対応製品の増加
- ・ 営業、メンテナンスの顧客情報の統合  
→ 営業活用（情報の効率的運用）
- ・ システム展開 → 事業と技術の幅を広げる

## 基本方針 3

### 新規事業のビジネスモデル構築

- ・ アクアティック事業 → 新たに欧州市場にアプローチ  
日・米市場の推進・拡大
- ・ 海外システム・メンテナンスの推進  
→ 欧州地域にモデル構築・事業化研究
- ・ 中国調達拡大 → 生産委託会社の開拓及び、  
部材調達を拡大

# 6 育成期 中期経営計画の主な具体的方針

## 1. 国内市場

- 競合リプレイス需要の獲得 (**CSの向上**)
- ソリューションビジネスの継続深耕
- 市場要求(製品、部品、納期等)対応
- 顧客向けIOTの推進



## 2. 海外市場

国	海外各市場における強化市場	新規事業及び注力市場
米国	水処理、医療機器	アクアテック事業、化学・化工機プラント
欧州	水処理、化学・化工機、冷却	アクアテック事業、システム製品
アセアン	水処理、表面処理装置、化学、医療機器	残塩計付電磁ポンプの需要調査
中国	医療機器、新エネルギー、水処理	二次電池、レギュレーション対応
韓国・台湾地域	水処理、新エネルギー	残塩計付電磁ポンプの需要調査

## 3. 投資について

- 欧州子会社生産設備の強化、中国生産委託会社の拡大、物流関連強化
- 事業の拡大に向けた業務提携、M&Aの検討



# 参考情報



**1 東京証券取引所市場第一部指定**  
✓3/15に東証市場第一部銘柄に指定。

**2 自己株式取得**  
✓資本効率向上、株主への利益還元の充実のため。  
✓自己株買い総額：5億円、総数60万株（上限）期間：5/17～7/12

# 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社イワキ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2019年5月27日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

## 【お問合せ先】

E-mail : ir@iwakipumps.jp  
TEL : 03-3254-2931  
受付時間 : 9時～17時30分